

救急医療の継続・充実を求める陳情書

流山市長 井崎 義治 様

2018年12月 日
東葛健康友の会
会長 渡部 隆夫
連絡先 千葉県流山市中 102-1
☎ 04-7159-1075

日頃より、住民の福祉の向上にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

ぜんそく・脳卒中・心疾患など一分一秒を争う病気に、24時間365日対応する救急医療は、市民生活に欠かせないものです。そして、その体制は、医師や看護師など医療従事者と医療機関の懸命な努力によって支えられています。

しかし近隣市が独自に行っている救急医療を確保するための負担金（補助金を含む）は、市民一人当たりで換算すれば、市立病院を持たない、以下3市の実態は、流山市（164円）は、我孫子市（593円）や野田市（586円）等と比較しても極端に少なく、約4分の1と少額です。

中でも、小児科は専門性・特殊性を評価されず、現在の診療報酬体系では収益性が極めて低く抑えられています。当初2医療機関で行っていた夜間帯（夜9時から翌朝8時まで）の小児救急医療は、現在1医療機関のみとなり、今後、確保・維持し続けることは更に困難さを抱えています。産婦人科、特に産科の実態も同様に困難を極めています。

特に流山市では、“母になるなら流山”と夢を持って移り住んできた子育て世代に、小児医療・小児救急に対する不安が広がっています。

いつまでも流山市に安心して住み続けられるように、下記のことを要望します。

記

- 1、行政が率先して責任を持って救急医療の継続・充実に取り組み、救急医療全体の市負担金を増額してください。
- 2、小児科・産科をとりまく医療環境の改善に向け、関係機関への働きかけを行ってください。また、市としても小児救急を含めたより良い小児科・産科医療が提供できるよう取り組みを強めてください。

お名前	ご住所